



優勝した日光ザ・ビクトリー



日光ザ・ビクトリー

全員野球で初優勝

全日本学童野球県予選大会

第二回全日本学童野球大会栃木県予選会の決勝戦が、七月四日、宇都宮市駒生A球場で行われ、日光ザ・ビクトリーがエース加藤投手の力投と堅いバックの守りで、宇都宮中央学童を1-0で破り、見事、優勝を飾りました。試合終了後、閉会式を行い日光ザ・ビクトリーチームが大優勝旗が、また、優秀選手には日光ザ・ビクトリーの加藤保之選手が選ばれました。

準決勝で優勝候補の東ビクトリーズ(宇都宮)を延長八回の末、3対2で破った日光ザ・ビクトリーは、決勝戦で、やはり優勝候補と評判の高かった宇都宮中央学童と対戦、エース加藤投手の力投とバックの堅い守りで再三のピンチを切りぬけ、散発四安打に押えて完封。

日光ザ・ビクトリーは、三回裏四球と相手のエラーでつかんだ二死・二塁のチャンスにダブルスチールを敢行、これが相手キャッチャーのエラーを呼んで失取点をあげました。この一点を全員で守り切り、見事初優勝したものです。日光ザ・ビクトリーは、初回から毎回のように入点圏に走者を許しながらも、全員が全く動揺しないでピンチを脱した精神力と冷静な判断力には驚かされるばかりでした。

試合終了後、ホームベース上に整列したナインは、初優勝の感激に全員涙で顔はクシャクシャ。応援にかけつけた弓手校長をはじめ父兄たちも、目を赤らめてビクトリーナインと共に優勝を喜びあっていました。



優勝旗を手に市内をパレード

午後三時すぎ、ビクトリーナインは、激戦を物語る汗で汚れたユニホーム姿のまま中央公民館前広場に集合、星野市教育長や小平市体育協会長らからお祝いの言葉を贈られたあと、日光小ブラスパンドを先頭に神橋までの約一・五キロを優勝パレードしました。

優勝旗を手にした日光ザ・ビクトリーナインのパレードに、沿道の市民や、観光客もパスの中から手を振って優勝を祝うなど、県大会を制した偉業に町中が沸き返っていました。

町中が喜びに沸く

市内を優勝パレード

〔大会の成績〕

- ・一回戦 小俣学童(足利市)を7-2
- ・二回戦 石橋クラブ(石橋町)

全国大会出場ならず

七月十一日、杉並区の上井草運動場で開かれた関東大会に、本県代表として出場した日光ザ・ビクトリーは、一回戦で渋谷フレンズ(東京)と対戦、1-3で敗れ全国大会の出場はなりませんでした。

を5-2

- ・準決勝 東ビクトリーズ(宇都宮市)を3-2(延長八回)
- ・決勝 宇都宮中央学童(宇都宮市)を1-0

夏休み…子供の交通事故をなくそう



夏休みに入ると、子供たちは、解放感などから、せっかく身についた正しい交通ルールや、安全な動作を忘れがちになります。家族みんなで、交通安全について話し合ひましょう。